

4	下水道局	お客さまの安全を守り、安心して快適な生活を支える施策																	
事業概要		<p>明治時代に始まった東京の下水道事業は、区部では平成6年度末に普及率が100%概成したが、初期に整備した下水道管や水再生センターなどは老朽化が進み、1日も休むことなく施設を稼働させるための対策が必要となっている。また、激甚化する豪雨や首都直下地震などへの対策も進めていかなければならない。</p> <p>このため、老朽化対策とあわせて機能の向上を図る「再構築」、豪雨などから都市を守る「浸水対策」、首都直下地震などに備える「震災対策」などの事業を着実に推進することで、お客さまの安全を守り、安心して快適な生活を支えていく。</p>																	
これまでの経過	<p>【再構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメント手法を活用し、計画的かつ効率的に下水道管や水再生センターなどの再構築を推進 ・下水道管の点検や調査を行い、健全度を把握し、更生工法や補修などを組み合わせ、対策を推進する。整備年代が古い都心4処理区（第一期再構築エリア）の下水道管の再構築を令和11年度までに完了 ・水再生センターやポンプ所は、定期的な点検、調査に基づく老朽化対策を行うことにより機能を維持し、能力増強が必要な施設は機能向上を図りながら計画的に再構築を推進 <p>【浸水対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間50ミリ降雨への対応を基本に、浸水の危険性が高い地区などに重点化し、幹線や貯留施設等の整備を着実に推進。広範な床上浸水等が想定される地区について、1時間75ミリ降雨に対応する下水道施設を整備するなど、対策を強化 ・一部完成した施設の暫定供用など施設の効果を速やかに発揮していくとともに、計画規模を超える降雨に対しても、ハード・ソフトの両面から対策を検討、推進し、安全・安心を確保 ・激甚化・頻発化する豪雨や将来の気候変動の影響を踏まえ、これまで以上に長期的な視点で戦略的に浸水対策を推進していく必要があることから、1時間75ミリ降雨に対応する新たな重点地区10地区の選定、更なるソフト対策の充実などを取りまとめた「下水道浸水対策計画2022」（令和4年3月）を策定した。 <p>【震災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道管の耐震化やマンホールの浮上抑制対策は、一時滞在施設や災害拠点連携病院などから排水を受け入れる下水道管を対象に加えて整備を推進 ・水再生センターやポンプ所では、最低限の下水道機能に加え、水処理施設の流入きよ、導水きよなどを新たな対象として耐震化を推進 ・停電時にも、施設の安定的な運転に必要な電力を確保するため、非常用発電設備を整備 																		
現在の進行状況	<p>【再構築】</p> <table border="1" data-bbox="288 1693 1430 1814"> <thead> <tr> <th>区部下水道事業の取組</th> <th>目標数値</th> <th>令和2年度末</th> <th>令和3年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一期再構築エリアのうち、下水道管の再構築を完了した面積の割合</td> <td>16,300ha</td> <td>62%</td> <td>66%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・令和3年度の主な内容 下水道管の再構築 740ha 実施</p> <p>【浸水対策】</p> <table border="1" data-bbox="288 1924 1430 2007"> <thead> <tr> <th>区部下水道事業の取組</th> <th>目標数値</th> <th>令和2年度末</th> <th>令和3年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下水道50ミリ浸水解消率</td> <td>56,300ha</td> <td>70%</td> <td>72%</td> </tr> </tbody> </table>			区部下水道事業の取組	目標数値	令和2年度末	令和3年度末	第一期再構築エリアのうち、下水道管の再構築を完了した面積の割合	16,300ha	62%	66%	区部下水道事業の取組	目標数値	令和2年度末	令和3年度末	下水道50ミリ浸水解消率	56,300ha	70%	72%
区部下水道事業の取組	目標数値	令和2年度末	令和3年度末																
第一期再構築エリアのうち、下水道管の再構築を完了した面積の割合	16,300ha	62%	66%																
区部下水道事業の取組	目標数値	令和2年度末	令和3年度末																
下水道50ミリ浸水解消率	56,300ha	70%	72%																

現在の進行状況	【震災対策】 排水を受け入れる下水道管を耐震化した施設数			
	区部下水道事業の取組	単位	目標数値	令和2年度末
	排水を受け入れる下水道管の耐震化等を実施した施設数	か所	5,900	4,315
	・令和3年度の主な内容 303 か所実施			
見通し	各施策の事業については、経営計画2021に基づき引き続き着実に推進していく。			
問い合わせ先	下水道局 総務部 理財課		電話	03-5320-6527